

# 信高ライブラリー☆ナビ 10月号

信楽高等学校図書館 2021年10月4日 発行

コロナ禍の只中ですが、皆さんどのようにお過ごしでしょうか。感染の恐怖に震えながら過ごしている人、マスクで息が苦しい人、とくにいつもと変わらない人、いろいろだと思いますが、不要不急の外出を控えつつ、家でゆっくりと読書を楽しむというのはいかがでしょうか。と、いうわけで新しい本の紹介です。



『青春ブタ野郎はバニーガール先輩の夢を見ない』

鴨志田一著 電撃文庫

最近のライトノベルのタイトルがやたらと長く具体的なのは、読者が貴重な時間を割いて内容に目を通すまでもなく、タイトルによってその本の内容が自分の求めるものかどうかを凡そ判断できるように、との配慮らしい。

“図書館にバニーガールは棲息していない。その常識を覆し、梓川咲太は野生のバニーガールに出会った。”



『わたしを離さないで』

カズオ・イシグロ著 早川書房

愛と青春の物語…というにはあまりにも不穏な空気が冒頭から漂っている。生物工学と功利主義の行き着く先とは。

“あなた方は…特別な生徒です。ですから体を健康に保つこと、とくに内部を健康に保つことが、わたしなどよりずっとずっと重要なのです”



『偏見や差別はなぜ起こる?』

北村英哉著 ちとせプレス

カテゴリ化、システム正当化、イデオロギー。社会を安全で円滑なものにしようとする私たちの認識が、無意識のうちに、その枠組みに合致しない人々を傷つけ、ときには命を奪いさえする。

“米紙『ワシントンポスト』によると、2015年の1年間のデータでは、武器を所持していない黒人が警察官に射殺される確率は、武器を所持していない白人が射殺される確率の7倍である。”



『5分後に超ハッピーエンド』

エプリスタ編

人気の超短編シリーズ。

“サンタのアルバイトは、想像以上にハードだった。お届け先が、たとえマンションの高層階であっても、他の住人に姿を晒さないように、エレベーターは使用し

ないルールになっていたからだ。”



『魔女をまもる 上』

槇えびし著 朝日新聞出版

魔女狩りはいつの時代にも起こり得る。いまは他府県ナンバー車への張り紙やワクチン非接種者への差別などもあるらしい。

“侯爵から人狼騒ぎを収めるため、ある村に派遣された医者者のヴァイヤー。村人たちが悪魔の僕の出現におののく中、人狼に襲われた女性マルテの傷を治療していたところ…”



『デザイナーのための折りのテクニック』

ポール・ジャクソン著 文化出版局

様々な折り方を写真と文章で紹介している。またよくある質問における著者の回答も、デザインに興味のある

人には面白いかもしれない。